

# 報告事項No. 6 資料

## 令和3年度川崎市一般会計教育費の決算について

### 1 一般会計決算

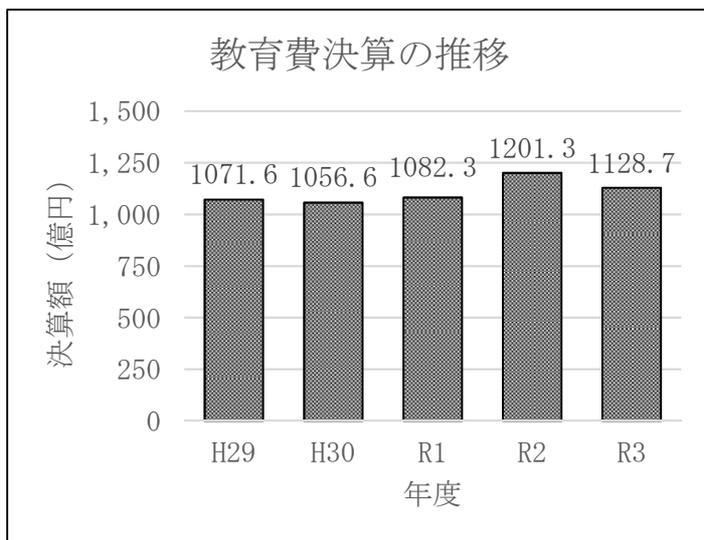
(単位：円)

予算現額	収入済額	支出済額	繰越財源	実質収支
951,858,825,509	847,995,680,319	839,880,765,755	2,111,030,578	6,003,883,986

### 2 教育費決算

(単位：円)

予算現額	支出済額	翌年度繰越額
133,740,678,319	112,865,061,428	11,976,497,000



#### 決算の推移の概要

H29

県費負担教職員の移管  
学校給食センター完成

H30

小杉小学校完成

R1

学校トイレ工事の増  
(7校→30校)

R2

GIGAスクール構想  
新型コロナウイルス感染症対策  
新川崎地区小学校用地取得

R3

学校給食費の公会計化

### 3 教育費の主要施策の成果 (各事業決算額、主な内容)

#### ・教職員の働き方改革

教職員事務支援員の配置 (小・中学校 148 校) 137,447 千円

障害者就業員の配置 (小・中学校 18 校) 115,165 千円

\* 教職員事務支援員又は障害者就業員を、全小・中学校に配置

部活動指導員の配置 (中学校 51 校) 46,841 千円

学校給食費の公会計化 64,791 千円

#### ・高校改革推進事業

3,614 千円

幸高等学校と橘高等学校の探究的な学習の時間で外部人材と連携した取組を推進

- ・校外行事運営事業 36,507 千円  
 修学旅行の中止や延期に伴うキャンセル料金の補填を実施
- ・児童生徒指導事業 179,917 千円  
 感染症の影響を受ける生徒の不安定な心に寄り添う専門家として、全市立高等学校に  
 スクールカウンセラーを配置
- ・読書のまち・かわさき事業 52,954 千円  
 学校司書（小学校）の配置を 42 校から 56 校に拡充
- ・学校運営協議会制度推進事業 1,810 千円  
 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を 21 校から 28 校に拡充
- ・G I G A スクール構想推進事業 581,492 千円  
 学校での本格的な端末活用の開始とともに、端末及び校内ネットワークの保守体制を  
 整備、普通教室の大型テレビの更新や非常勤講師用等の端末を整備
- ・支援教育コーディネーター体制整備事業 63,012 千円  
 不登校対策等の充実を図るため、コーディネーターの業務を補完する後追い非常勤講  
 師の配置を 31 校から 41 校に拡充
- ・特別支援学級運営事業 82,838 千円  
 特別支援学級（10 校）に外部人材を活用した介助・支援を実施
- ・医療的ケア支援事業 43,276 千円  
 特別支援学校における専門医の配置、市立学校への看護師派遣等により、医療的ケア  
 を必要とする児童生徒一人ひとりの状況・ニーズに応じた支援を実施
- ・地域の寺子屋事業 64,759 千円  
 65 か所から 76 か所に拡充
- ・教育文化会館・市民館社会教育振興事業 29,813 千円  
 デジタルデバイドの解消に向け、スマホ・タブレット教室や I C T ツール活用講座等  
 を実施
- ・博物館運営管理事業 250,636 千円  
 青少年科学館においては、プラネタリウム 50 周年記念番組の投影などを行ったほか、  
 日本民家園では、事業の更なる充実や計画的な施設整備に向けた運営基本方針の策定準  
 備として、外構・植栽等ハード面の整備に向けた現況調査を実施

- ・学校保健・安全管理事業 82,525 千円  
 保健室以外でも使用できる簡易ベッドを全市立学校へ配置するとともに、市立学校の感染症対策に必要な衛生用品等を購入
- ・学校給食物資購入事業 5,399,472 千円  
 安全、安心な給食食材を安定的に確保するため、学校給食物資調達を主な事業とする公益財団法人川崎市学校給食会に食材調達等の業務を委託して実施
- ・校舎建築事業 2,251,666 千円  
 児童生徒の増加に対応するため、新川崎地区の小中学校新設に向けた基本設計を実施したほか、坂戸小学校、新作小学校及び井田中学校の校舎増築の設計等を実施
- ・義務教育施設整備事業 12,216,299 千円  
 学校トイレの快適化を42校完了するなど、教育環境の向上を図ったほか、「学校施設長期保全計画」に基づき、既存校舎の再生整備工事等を実施
- ・特別支援学校施設整備事業 18,251 千円  
 狭隘化に対応するための整備に向けて、中央支援学校高等部分教室については基本計画を策定し、中央支援学校大戸分教室については基礎調査を実施
- ・社会教育施設整備事業 445,241 千円  
 労働会館及び教育文化会館の再編整備については、労働会館の活用による川崎区の市民館機能の移転に向けて、実施設計や管理運営計画の策定作業等を行ったほか、鷺沼駅前地区再開発事業に伴う宮前市民館・図書館の移転・整備については、管理運営計画の策定を推進

#### 4 教育費決算の一覧

(単位：円)

款 項	決算額	主な事業
1 3 教育費	112,865,061,428	
1 教育 総務費	35,588,435,290	教職員事務支援員配置事業、部活動指導員事業、読書のまち・かわさき事業、学校運営協議会推進事業、G I G Aスクール構想推進事業 など
2 小学校費	26,203,483,955	学校運営経費など
3 中学校費	12,773,776,294	学校運営経費、支援教育コーディネーター体制整備事業など
4 高等 学校費	3,213,373,215	学校運営経費など
5 特別支援 教育費	2,678,116,673	学校運営経費、医療的ケア支援事業など
6 社会 教育費	3,103,151,816	地域の寺子屋事業、博物館運営管理事業など
7 体育 保健費	11,410,851,189	学校保健・安全管理事業、小学校給食運営事業、中学校給食推進事業、学校給食物資購入事業など
8 教育 施設費	17,893,872,996	校舎建築（新築・増築）事業、義務教育施設整備事業、特別支援学校施設整備事業など